

幼稚園・保育園・こども園ってどんなところ？

みなさん、来年度の入園について、もうお考えですか。どこの幼稚園にしようか、保育園にしようか、こども園にしようかと迷っている保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ところで、幼稚園と保育園・こども園の違いってご存知ですか。学習をするところが幼稚園？子どもを預かってくれるところが保育園？こども園って、どんなところ？こんな疑問はありませんか。

今日は、そんな疑問にお答えします。

【保育園】 2号・3号

保育園とは、保護者の労働、疾病、出産、看護などの事由により、その子ども（乳幼児）の保育を必要とする場合において、家庭での保育に代わって保育するところです。

【認定こども園】 1号・2号・3号

幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持つ施設です。3～5歳の児童は、保護者の働いている状況に関わりなく、教育・保育を一緒に受けます。保護者の就労等の状況が変わっても通い入れた園を継続して利用することができます。

【地域型保育事業所（小規模保育所・事業所内保育所）】 3号

保育園、こども園よりも少人数で0歳～2歳の児童を保育します。





【幼稚園】 1号

保護者の就労の有無にかかわらず、満3歳～保育、教育を受けることができます。

幼稚園と保育園・こども園の違い

| | 幼稚園 | 認定こども園 | 保育園 |
|----------|--|--------------------------------------|---|
| 所管 | 文部科学省 | 内閣府（文部科学省・厚生労働省） | 厚生労働省（R5～こども家庭庁） |
| 施設の目的 | 幼児を保育し、幼児の健やかな成長のため適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること。 | 幼稚園と保育園の機能や特徴を併せ持ち、総合的な教育・保育を提供すること。 | 保護者が仕事、病気などのため家庭での保育ができない場合、保護者に代わって、乳児または幼児を保育する。 |
| 預かり年齢 | 満3歳児から ＊3歳の誕生日を過ぎれば入園できる園もある。 | ← 1号認定 2・3号認定 → | 0歳から ＊1歳から・2歳からの入園に限定される園もある。 |
| 入園の条件 | 特になし | ← 1号認定 2・3号認定 → | 保護者の就労等により家庭での保育ができないこと。 |
| 職員資格 | 幼稚園教諭 | 満3歳以上は両免許が望ましいがいずれでも可。3歳未満は保育士。 | 保育士 |
| 入園／退園の時期 | 学年の始（4月）・終（3月）が一般的。 満3歳の誕生日 | ← 1号認定 2・3号認定 → | 家庭で保育ができない状況が発生したとき。（入園） 家庭で保育ができない状況が消滅したとき。（退園） （随時入退園可能） |

| | | | |
|----------|---|--|---|
| 保育(教育)時間 | 一日の教育時間は4時間を標準とする。 春、夏、冬に長期の休みがある。 | ← 1号認定 2・3号認定 → | 1日8時間または11時間 保護者の勤務時間、家庭状況を考慮して定める。 |
| 保育内容 | 幼稚園教育要領により、幼児の発達の側面から「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域が示されている。 | 保育所保育指針に基づき、養護と教育の一体化に配慮 3歳以上は幼稚園教育要領と同じ5領域を設定し、発達を促す | 保育所保育指針に基づき、養護と教育の一体化に配慮 |
| 保育料 | 3歳以上児は無償化 | 年度当初の年齢で3歳～5歳までは無償化。未満児は市町村民税非課税世帯は無償化 | 年度当初の年齢で3歳～5歳までは無償化。未満児は市町村民税非課税世帯は無償化 |
| 問合せ先 | 各幼稚園 | 各園及び市役所こども未来課 | 市役所こども未来課 |
| その他 |  | 認定こども園山手幼稚園・明応こども園・認定こども園から幼稚園の1号認定は、園へ直接申し込み。山之上こども園の1号認定は、市役所こども未来課まで。 | 地域型保育事業所(3号) 0～2歳まで  |

園選びのポイント・アドバイス

- ① 「施設の目的」「入園の条件」「入園できる年齢」などをよく確認しましょう。
★保育園は、誰でも利用できるわけではなく、仕事や病気などの都合でお子さんを長時間あずけなければならない場合に利用できる場所です。入園の条件が合わなくなった場合は途中退園となる場合があります。
★幼稚園・認定こども園(1号)は、決められた年齢になれば入園ができ、保護者の就労等の条件はありません。
- ② 各園の園庭開放などへ行って、先生の様子、子どもたちの様子、雰囲気などを体験しましょう。
(園庭開放や園見学などについては、各園に直接問い合わせてください。)
- ③ 園によってさまざまな教室を取り入れているところもあります。園の方針や保育内容などについても聞いてみましょう。

※ご家庭の生活環境や、お仕事の状態などをよく考え、園選びをしましょう。

入園の申し込みは？

